

陳情第2号	受理年月日	令和7年1月14日
付託委員会	議会運営委員会	
件名	議会審議において、各議員が、どの議案に「賛成」「反対」「棄権」したか分かるようホームページで公開することについて	
要旨	<p>日本は民主主義国家なので、国民は政治家を選挙で選ぶ。国民は、自分の理想を実現してくれると思える政治家に投票するわけだが、自分の理想を実現してくれる政治家を見分けるのは、簡単ではない。選挙に立候補する人は、街頭演説やマニフェスト等で自分の考えを表明するが、それらが守られないこともあるので、それだけでは十分とは言えない。</p> <p>私が陳情することが行われれば、国民は、政治家が言っていることではなく、実際の行動を知ることができるので、より正確に自分の理想を実現してくれる政治家を選ぶことができる。</p> <p>どの議員が、どの議案に賛成、反対、棄権したかが分かるようにすることは、民意を政治に反映する上でとても重要なことであり、国民の知る権利であり、民主主義の根幹であり、政治家の怠慢や横暴を防ぐための重要な仕組みであると私は考える。</p> <p>以上の理由から、議会の審議における議案の審議結果、意見書・決議の審議結果、請願・陳情の審議結果について、どの議員が、どの議案に賛成、反対、棄権したかが分かるように、図をつくり、自治体のホームページに公開してほしい。また、それを見やすいものにしてほしい。</p> <p>なお、この取組は、東京都小金井市では10数年前から行われている。小金井市では、議案に賛成する議員は起立しているが、それをカウントし、別紙のような図を作成している。</p>	